

**霧の中にオーボエが響く森!**

●平成24年「浦高百年の森」下刈活動!

今日21日は「浦高百年の森・下刈活動」でした。梅雨が明けたにもかかわらず、昨日から5月初旬の陽気になり、今朝は小雨もぱらついていました。7時過ぎに春日部市を出て蓮田市から鴻巣市を抜け、荒川右岸をひた走り9時40分過ぎに寄居町風布に着きました。普段は浦和と寄居からバス2台のところ、3台のバスとともに沢山の自家用車が先に来ており、大勢が集まっている予感が、また、山道を歩きながらガイドの方から説明を聞いているグループもあり、久々に風布の山が賑わっていました。

天気は山全体に低く雲がかかり、時々小雨も…。



山小屋に着くと、大勢の女性達も居ていつもと感じが違いました。10時、開会式が始まりました。

◆小室百年の森委員長から「皆さん、おはようございます。百年の森も7年目を迎え、山小屋がひと回り小さく見えるほどに森が育って来ました。今日は在校生やPTAの皆さんも多数参加してくださり、嬉しい山作業となりました。皆さんの力でさらに百年続く森に育てたいと思います。さて、今日は作業をするのには最高の天気です。昨年の倍以上の作業ができるものと思っていますが、くれぐれもケガのないようお願いいたします。」とのご挨拶【写真①】。

事務局の鯨井さんの説明では、総勢が約140名で、浦高生19名、PTA23名、浦和一女生2名、



浦和一女OG30名が含まれているそうです。活動の諸注意を伺い、午前中の作業が始まりました。



た。浦高チームは5班に分かれて、傾斜面の下草刈りです。林道の下から上に向かって1.5m近くもある大鎌で草を刈っていきます【写真②③】。

\*

●昼食の後は渡辺克也さんのオーボエ独奏会

約1時間半の作業を終えて、昼食タイムとなりました。川野会長から差し入れのキュウリ、トマト、スイカなどをいただき、元気が出たところで、嬉しいお楽しみが待っていました。現在、ソリスツ・ヨーロッパアンズ・ルクセンブルグの主席奏者として活躍されている渡辺克也さん(高37回)が、下刈作業に参加してくださり、さらにオーボエの演奏をしてくださるとのことです【写真④】。



最初曲は、プッチーニのオペラ「ジャンニ・スキッキ」の中から「私のおとうさん」。長閑な音が霧の出た森に包まれていきます。続いて、プレスをしないう循環呼吸を披露され「百年の森づくりも、ぜひ息の長い活動になることを祈ります」とのこと。続いて、モンティの「チャルダッシュ」です。この曲はマンドリンのために書かれた曲だそうで、音色は時に重く、時に軽妙にと私たちを引き込んでいきます。最後のアンコールは「浦高校歌」と、とても贅沢なひと時を楽しむことができました。感謝! さらに、渡辺さんからは、環境に優しいペットボトルに詰められ、デポジッ

ト容器(ビール30円、容器30円)のドイツビールのプレゼントもありました【写真⑤】。



小室委員長、石関さんを交えて春日部地区浦高会6人で記念撮影【写真⑥】。【写真下⑦:全体写真】

